

日本物理学会領域 2 運営会議 議事録

日時: 2014 年 3 月 28 日 (金) 12:00-12:30

場所: 東海大学湘南キャンパス AE 会場

司会: 領域 2 代表 米田仁紀

書記: 領域 2 役員 岡本敦

出席者: 約 30 名

報告事項

1. 運営会議のあり方について、代表の米田より説明があった。(2 ページ)
2. 2014 年 4 月からの領域 2 役員体制について説明があった。2014 年 10 月からの役員について提案があり、承認いただいた。(3 ページ)
3. 学生優秀発表賞について、2013 年秋季大会の結果の報告があった。(4 ページ)
 - Q. Plasma2014 では学生賞のメダルはどうするのか?
 - A. 各学会ではなく Plasma2014 として準備することとなる。
4. 領域 2 より第 8 回(2014 年)若手奨励賞に推薦した 2 名について受賞が決定したことの報告があった。(5 ページ)
5. 領域会議における決定事項について報告があった。(6 ページ)
 - 複数登壇に関連して、領域 2 役員経由で領域代表へ連絡することができる。
6. PLASMA2014 について説明があった。(7,8 ページ)
 - 一般講演の申込締切が 8 月 1 日である。積極的な申し込みをお願いしたい。
7. 領域 2 の講演数に関するファクトデータの紹介があった。(10,11 ページ)
 - 今年はここ数年で初めて 200 を超えた (3 学会連合を除く)
 - PLASMA2014 の次の 2015 年 3 月にも積極的な申し込みをお願いしたい。
8. 日本学術会議物理学委員会の活動報告に関するインフォーマルミーティングについて、九州大学の伊藤先生(代読、米田)より報告があった。(12 ページ)
9. 2013 年 7 月の APPC12/ASEPS について開催の報告と謝辞が同志社大学の笹尾先生(代読、菊池先生)よりあった。(13 ページ)
10. AAPPS-DPP の創立について Division chair の菊池先生より報告と会員登録の依頼があった。(14 ページ)
11. JSPS 学術研究センターからの情報としてこれまでのプラズマ関連細目における採択数などについて報告があった。(15 ページ)
12. 第 70 回年次大会(2015 年 3 月)の準備スケジュールについて連絡があった。(16 ページ)
 - シンポジウム・招待講演の締め切りが PLASMA2014 の開催前である。
 - 一般講演の締め切りが PLASMA2014 の会期前後である。
13. 領域 2 懇親会について、開催案内と学生料金変更の連絡があった。(17 ページ)
14. APS 招待講演のワンボイス推薦について領域副代表の斉藤より連絡があった。
 - 物理、プラ・核、応物の 3 学会で推薦する。4 月 1 日が締め切りである。

以上